

UNION NEWS

<https://www.jrtu.jp>

東海旅客鉄道労働組合

 E-mail sodan@jrtu.or.jp
 東京本部 〒108-0075 東京都港区港南1-1-5
 JR東海品川ビル3F (03)6718-1251
 名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

発行人 尾内 裕昭 / 編集人 鈴木 賢二

春闘 配分交渉妥結 専任社員に手厚い配分を実現

4月11日、JR東海ユニオンは、「2023春季生活闘争」にて勝ち得たベースアップ1,000円の配分について交渉し、妥結した。会社から示された「ベースアップの原資全額を基本給に配分し、各等級における初任給と昇格時昇給額の累計額の比率に応じてペア額を設定する」との内容は、従来の考え方を踏襲したものであることを確認した。また、専任社員については、調整手当が支給されていないことから、従来の基本給だけでなく、基準内賃金全体で社員に準じた引き上

等級	一般社員	医療社員
J1等級	800円	—
J2等級	800円	800円
J3等級	900円	900円
S1等級	900円	900円
S2等級	1,000円	1,000円
S3等級	1,100円	1,100円
C1等級	1,100円	1,100円
C2等級	1,200円	1,200円
L1等級	1,400円	1,300円
L2等級	1,500円	1,300円
L3等級	1,600円	1,600円
L4等級		
L5等級		

会社が別に定める。

区分	専任社員
I 生年月日が昭和32年4月2日以降の者	4,300円
上記に該当しない者	3,900円
II 生年月日が昭和32年4月2日以降の者	4,800円
上記に該当しない者	4,500円
III	6,200円
IV	会社が別に定める。
V	3,900円

3月～5月において、分会主催の「全職場総対話行動」が各地で精力的に開催され、組合員と対面でコミュニケーションを取ることに力を入れて取組んでいる。また東京、名古屋に



りている。コロナ禍の収束に伴い、地本・総支部、支部、分会による「対面型の対話」に戻し、多くの組合員の「本音」の意見・要望があげられている。春の「全職場総対話行動」においては、「2023春季生活闘争」の取り組みについての詳細説明と、これまでにいただいた意見・要望に関するフィードバックを行い、組合員と対面でコミュニケーションを取ることに力を入れて取組んでいる。また同時期に出向組の「出向者総対話行動」についても開催し、出向先での就業状況をはじめ、出向組合員が抱える様々な問題、課題を把握し、解決に向けて取り組んでいる。また同時に、出向組合員が抱える様々な問題、課題を把握し、解決に向けて取り組んでいる。また同時に、出向組合員が抱える様々な問題、課題を把握し、解決に向けて取り組んでいる。



各地で組合員が参集し、諸課題解決に向け様々な議論を展開！
JR東海ユニオン最重点取り組みである、春の「全職場総対話行動」開催中！

古屋の両総支部においては、リニア実験線センター、車両基地、各工務事務所においても対面開催し、リニア中央新幹線建設に関わる組合員から、現状の課題や問題を適切に把握するための取り組みも実施し積極的な討議を展開している。また同時に、出向組の「出向者総対話行動」についても開催し、出向先での就業状況をはじめ、出向組合員が抱える様々な問題、課題を把握し、解決に向けて取り組んでいる。また同時に、出向組合員が抱える様々な問題、課題を把握し、解決に向けて取り組んでいる。

引き続き、「全職場総対話行動」を通じた組織強化のサイクルが強固なものとなるよう推進していく。